

生命倫理学

| | | | |
|--------------|---------------------|-----|------|
| 責任者・コーディネーター | 人間科学科哲学分野 遠藤 寿一 准教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 人間科学科哲学分野 | | |
| 担当教員 | 遠藤 寿一 准教授 | | |
| 対象学年 | 第1学年 | 期間 | 前期 |
| 区分 | 講義 | 時間数 | 21時間 |

■ 学習方針（講義概要等）

現代医学の進歩はめざましく、病気や障害に悩む多くの人々に福音をもたらしている。しかし他方、安楽死、生殖医療、移植医療、遺伝子診断などの先端医療技術はまた、新たな倫理的問題も生み出している。例えば、安楽死は認められるか、脳死は人の死か否か、といった現代医学の諸問題は「人間とは何か」「人と人との関わりはどうあるべきか」という倫理学の古典的な課題を、具体的な場面で新たに問い直すものだと言える。

こうした状況を踏まえ、「生命倫理学」では、現代医療が直面している倫理的課題について理解を深め、広い視野から問題を考察する能力の育成を目指す。

■ 一般目標（GIO）

現代医療が直面している倫理的問題点を理解し、対立する諸見解を整理して、自分の立場を明確にできるようにする。

■ 到達目標（SBO）

1. 終末期医療、生殖医療、移植医療等の現状を理解し、どのような点が倫理的に問題になっているかを説明することができる。
2. 安楽死は許されるか、脳死は人の死か、遺伝子診断はどのようにあるべきか等について、提起された諸見解を整理し、日本の現状にそくして、自分の見通しを述べることができる。

■ 講義日程 (クラス1・MD 合同)

【(矢) 西 1-A 講義室】

| クラス | 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-----|-------------|----------|----------|--------|-------|-----------------------------------|
| C1 | 4/15 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生命倫理とは何か 生命倫理の問題圏を理解する。 |
| C1 | 4/22 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 安楽死 (1) 安楽死の現状を理解する。 |
| C1 | 5/13 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 安楽死 (2) 安楽死の倫理的問題点を検討する。 |
| C1 | 5/20 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 安楽死 (3) 安楽死の今後を展望する。 |
| C1 | 5/27 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 移植医療 (1) 移植医療の現状を理解する。 |
| C1 | 6/3 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 移植医療 (2) 移植医療の倫理的問題点を検討する。 |
| C1 | 6/10 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 移植医療 (3) 移植医療の今後を展望する |
| C1 | 6/17 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生殖技術 (1) 生殖技術の現状を理解する。 |
| C1 | 7/1 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生殖技術 (2) 生殖技術の倫理的問題点を検討する。 |
| C1 | 7/8 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生殖技術 (3) 生殖技術の今後を展望する。 |
| C1 | <u>7/16</u> | <u>火</u> | <u>2</u> | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 人工妊娠中絶 (1) 人工妊娠中絶の現状を理解する。 |
| C1 | 7/22 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 人工妊娠中絶 (2) 人工妊娠中絶の倫理的問題点を検討する。 |

| クラス | 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-----|------|----|----|--------|-------|--------------------------------------|
| C1 | 7/23 | 水 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 人工妊娠中絶 (3) 人工妊娠中絶の今後を展望する。 |
| C1 | 8/19 | 月 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生命倫理と優生思想 生命倫理の諸問題と優生思想との関係を理解する。 |

■ 講義日程 (クラス2・MD 合同)

【(矢) 東 2-C 講義室】

| クラス | 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-----|------|----|----|--------|-------|-----------------------------|
| C2 | 4/19 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生命倫理とは何か 生命倫理の問題圏を理解する。 |
| C2 | 4/26 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 安楽死 (1) 安楽死の現状を理解する。 |
| C2 | 5/10 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 安楽死 (2) 安楽死の倫理的問題点を検討する。 |
| C2 | 5/17 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 安楽死 (3) 安楽死の今後を展望する。 |
| C2 | 5/24 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 移植医療 (1) 移植医療の現状を理解する。 |
| C2 | 5/31 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 移植医療 (2) 移植医療の倫理的問題点を検討する。 |
| C2 | 6/7 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 移植医療 (3) 移植医療の今後を展望する |
| C2 | 6/14 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生殖技術 (1) 生殖技術の現状を理解する。 |
| C2 | 6/21 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生殖技術 (2) 生殖技術の倫理的問題点 |

| クラス | 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-----|------|----|----|--------|-------|--|
| | | | | | | を検討する。 |
| C2 | 6/28 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生殖技術(3) 生殖技術の今後を展望する。 |
| C2 | 7/5 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 人工妊娠中絶(1) 人工妊娠中絶の現状を理解する。 |
| C2 | 7/12 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 人工妊娠中絶(2) 人工妊娠中絶の倫理的 問題点を検討する。 |
| C2 | 7/19 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 人工妊娠中絶(3) 人工妊娠中絶の今後を 展望する。 |
| C2 | 8/23 | 金 | 2 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 生命倫理と優生思想 生命倫理の諸問題と優生 思想との関係を理解す る。 |

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------------------------|-------------|----------------------|------|
| 教 | 医学生のための生命倫理 | 松島・盛永編 | 丸善書店 | 2012 |
| 参 | 基礎から学ぶ生命倫理 | 村上喜良 | 勁草書房 | 2009 |
| 推 | 香川知晶 | 命は誰のものか | ディスカヴァー・トゥ エンティワン | 2007 |
| 参 | 資料集・生命倫理と法(ダイ ジェスト版) | 生命倫理と法編集委員会 | 太陽出版 | 2002 |
| 参 | 生命倫理事典 | 酒井 明夫、他 編 | 太陽出版 | 2007 |
| 参 | 生命倫理百科事典 | W.ライク、他 編 | 丸善株式会社 | |

■ 成績評価方法

原則として以下のように成績を評価する。

平常点 20 点 (出席点 + 毎回の課題) + 定期試験 80 点 = 100 点

■ 特記事項・その他

1. 講義は医学部と歯学部の合同で行う。
2. 学生を2グループに分け、クラス1(C1)は月曜日の2時限目に、クラス2(C2)は金曜日の2時限目に講義を行う。
3. C1は、7月16日(火)2時限目と7月23日(水)3時限目に授業を行う。

■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--------------------------------------|----|------------------|
| 講義 | パソコン (FAITH Fortission Si35300X/DVR) | 1 | 講義資料作成、他 |
| 講義 | ノート型 PC (富士通 FMV-BIBLO LooxC/E50) | 1 | 講義資料作成、他 |
| 講義 | ノートパソコン (富士通・FMVLCE70B) | 1 | 講義資料作成・保管、プレゼン、他 |